

## 京都学園法学 2012年号 総目次

論 説	号数	頁
期限の利益の喪失約款の効力再考……………宮川不可止 ——包括事由についての判断枠組の定立	1号	1
スリランカ・ムスリム……………松田 哲 ——その特徴と政治的スタンス——	2号	77
自己負罪拒否権の保障に 限界や制約が認められるか……………三並敏克	2号	131
名板貸責任の効力論……………宮川不可止 ——「効果からみた要件」の検討	2号	157
心理的負荷による 精神障害の認定基準の検討……………柏崎洋美 ——カナダ法の基準を含めて——	2号	177
イギリス会社法学における 「会社自身の価値最大化持続モデル」……………小野里光広 ——Andrew Keayの言説の検討——	3号	199
期限の利益の放棄による損害賠償……………宮川不可止 ——期限前弁済の類型別検討を中心に	3号	221
会社分割の詐害行為 取消しにおける効果論……………原 弘明 ——価額賠償の例外則構築の一試論——	3号	239
 <b>研究ノート</b>		
継続的契約・将来発生債権の取扱いに 関する論点整理……………原 弘明 ——会社法における従業員の取扱いの参考として	1号	23
 <b>判例研究</b>		
信用保証協会の保証契約の錯誤無効の主張が 排斥された事例……………渡邊博己 ——福岡高那覇支判平成23・9・1金判1381号40頁	1号	37
「相続させる」旨の遺言と代襲相続……………右近潤一 ——最高裁判所平成23年2月22日 第三小法廷判決民集65巻2号699頁	1号	59

無委託保証人の取得した

事後求償権を自働債権とする相殺の可否……………渡邊博己 3号 257  
——最二小判平成24年5月28日民集66卷7号3123頁

**講 演**

刑事法の今日的課題

—革命期の刑事司法……………廣瀬健二 3号 281

**雑 報**

法学会記事…………… 3号 303